

## 第2次佐世保市環境教育等推進行動計画（素案）に関するご意見と回答（パブリックコメント）

受付期間 | 平成30年11月8日（木）～平成30年12月7日（金）

受付人数 | 2名（男性2名、女性0名）

意見件数 | 2件

No.	年代	性別	頁	ご意見	回答
1	60代	男性	-	<p>環境を大切にするには、あるがままであること。 河川であれば、護岸を残し、治水を自然に任せる。 当然、地域は災害の危険があるが、予知して、避難する感性を日頃から磨く訓練をする。 海岸を不必要に埋め立てずに、利益が出ない大型船寄港に無駄な予算を使わないことも、環境維持につながる。 自分の受益の為だけに他者の固有財産を侵害したりしないことも、環境維持になる。その典型が、むだなダムの石木地区の個人資産接收だ。膨大な予算を使わなくとも、賢い官僚の皆さんの知恵を結集すれば、環境は維持できると確信する。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 本計画に基づいた各種施策を通して、環境保全の重要性に気づき、考え、それぞれの立場に応じて自発的・積極的に環境に配慮した行動ができる市民“環境市民”を育てる環境教育を推進し、自然環境を守りながら、同時に発展し続ける「自然とともに生きるまちさせぼ」を未来へ継承してまいりたいと考えております。</p>
2	40代	男性	-	<p>「第2次佐世保市環境教育等推進行動計画（素案）」に該当するか分かりませんが、コメントをさせていただきます。 自分の身近なところで、自分が子どもの頃は夏には虫採りが出来ましたが、今は虫達が減っているのはもちろんですが、虫が留まる木が減っています。理由として、家が出来たり、事業所が出来たりで大切な木が伐採されています。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 本市における絶滅のおそれのある野生生物の種の一覧である「佐世保市レッドリスト」に基づき、本市の公共工事や、国・県・民間事業者による開発行為等に対して、助言や情報提供を行っております。 また、地元の自然環境に詳しい市民団体や専門機関の協力を得ながら、地域の生きものの情報の発信や自然観察会の開催など普及啓発を進めているところです。</p>

(つづき)			<p>それと気になるのが農薬です。農薬によって虫たちが死んでいるのではないかと考えています。</p> <p>身近に親しみが持てる虫たちがいて虫採りを通して自然に親しむ事が出来るのではないかと考えたとき、虫が減ってきているということは自然に親しむ機会が減ってきているという事になると思っています。農薬の見直し、市販品の劇薬の農薬や除草剤の見直しなど関係機関と連携を取り合いより良い環境構築をしてもらいたいと思います。</p>	<p>農薬等につきましては、貴重なご意見といたしまして、関係部局へ情報提供させていただきます。</p>
-------	--	--	---	---